



カラス、ハクビシン、アライグマ、サル、シカ、イノシシ、クマなどさまざまな野生動物が私たちの周りには住んでいます。

近年、こうした野生動物が住宅や農地など私たちのすぐそばに現れることが多くなっています。その理由として、山に食べ物が少ないとなどがあり、最近ではごみを目当てに住宅街に現れる野生動物が多くなっています。適切に処理しているように見えるごみが、思わぬところで野生動物の餌になってしまったりすることがあります。

▼具体例

家庭ごみ が餌となるケース

生ごみの入った袋を家の外に置いたり、ごみ集積場の蓋が簡単に開くようになっていると、野生動物が民家周辺をうろつき、農作物だけでなく、人身被害も引き起こしてしまうことになります。



田畑に置いた農作物 が餌となるケース

野菜くずや収穫しきれないカキやクリなどの農作物を畑にそのまま放置すると、野生動物は餌場として利用し、周辺に住み着いて繁殖したりするようになります。



公園などで食べ残しひごみ箱に捨てたもの が餌となるケース

弁当の食べ残しなどの食品を公園のごみ箱に捨てると、野生動物は餌が簡単に食べられる場所と思い、何度も訪れるようになります。



呼び寄せているかも

そのごみ、野生動物を

人間と野生動物には、お互いの安全安心な暮らしのために適切な距離を保つことが必要です。ごみを適切に処理しないことで、野生動物との距離を不用意に近づけてしまったり、壊してしまったりがあります。最悪の場合、野生動物により人的被害がもたらされることもあります。

注意するポイント

1 生ごみはごみ集積場に決められた時間内に出す。

2 ごみ集積場は野生動物が壊せない・侵入できない構造で作り、壊したら早めに修理する。



3 果樹や農作物で余ったものはそのまま放置せず、人に配る、コンポストなどの適切な方法で堆肥化する、作る量を調節するなどして、畑に捨てない。



4 公園などでは不用意に食品を捨てない。



5 割り払っていない草やぶや耕作放棄地などをできる範囲内で地域清掃活動などにより除草する。



詳細は市HPに掲載しています

問い合わせ 環境政策課 ☎025-226-1359



環境課題にこのまちで取り組む。
われら、ONEカンパニー
Official Niigata Eco vol.15

環境優良事業者に認定された
会社の取り組みをご紹介

3R推進部門

イオンリテール株式会社
北陸信越カンパニー

お客さまと共に進める 資源循環型社会の実現

イオンは、2030年までに使い捨てプラスチックの使用量を2018年度比で半減する目標を掲げています。「減らす・繰り返し使う」という面では、レジ袋削減に向け、マイバッグやマイバスケットの持参を呼びかけるとともに、昨年から、衣料品・暮らしの品売場のレジでは、プラスチックレジ袋の販売を終了、紙製へと変更しました。また、弁当の購入時などに提供するカトラリーも木製・紙製に変更しています。「リサイクル」の面では、店頭で回収した



ペットボトルを原料として、プライベート商品「トップバリュ」の容器に再利用する『ボトルtoボトルプロジェクト』もスタートしており、資源循環の実効性を高めています。

また、ケース販売専用商品として、ケース自体に表示義務項目を印刷することでペットボトルにプラスチックラベルを貼らずに済み、分別回収の手間もかからない「トップバリュラベルレス飲料」の販売をはじめ、使用するプラスチックを化石由来からバイオマス原料に切り替える『環境配慮3R商品』への転換も順次進めています。

こうした環境負荷低減の取り組みは、企業とお客さまが相協力することで浸透することもあり、行政機関やNPO団体とも連携し、店舗や売場を情報発信基地と位置づけ、さらなる啓発活動に努めてまいります。



認定事業者一覧は
市HPに掲載しています



問い合わせ | 循環社会推進課 ☎025-226-1391

10月は 食品ロス 削減月間

フードドライブにも
寄付してみてね

食品ロスを削減していくには、一人一人が「もったいない」を意識して行動することが大切です。

- 賞味期限は「おいしいめやす」
- 必要な分だけ買おう ●残った料理はリメイク
- 冷蔵庫や食品ストックの見える化



問い合わせ | 循環社会推進課 ☎025-226-1391

●次回は、令和6年12月1日(日)発行予定です

●サイチョPRESSの発行には、有料指定袋の収入が使われています。

きよてん もこ
Q フードドライブ拠点に持ち込めないものは?



サイチョの
クイズ
コーナー

サイチョが考えたクイズだよ。
挑戦してね!

③レトルト食品



①お米



④お酒



②缶詰

